



## 2021年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2021年2月5日  
上場取引所 東

上場会社名 稲畑産業株式会社  
コード番号 8098 URL <https://www.inabata.co.jp>  
代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 稲畑 勝太郎  
問合せ先責任者 (役職名) 財務経営管理室長 (氏名) 農田 康一 TEL 03-3639-6421  
四半期報告書提出予定日 2021年2月10日 配当支払開始予定日 —  
四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無  
四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

### 1. 2021年3月期第3四半期の連結業績 (2020年4月1日～2020年12月31日)

#### (1) 連結経営成績 (累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2021年3月期第3四半期	420,368	△8.3	10,610	1.7	11,996	3.5	9,486	4.1
2020年3月期第3四半期	458,573	△6.0	10,435	△7.5	11,587	1.2	9,113	△19.6

(注) 包括利益 2021年3月期第3四半期 17,680百万円 (—%) 2020年3月期第3四半期 393百万円 (△98.9%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2021年3月期第3四半期	157.60	—
2020年3月期第3四半期	150.64	—

#### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2021年3月期第3四半期	330,527	161,343	48.2
2020年3月期	322,848	147,726	45.2

(参考) 自己資本 2021年3月期第3四半期 159,442百万円 2020年3月期 145,924百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2020年3月期	—	20.00	—	33.00	53.00
2021年3月期	—	20.00	—	—	—
2021年3月期 (予想)	—	—	—	33.00	53.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

### 3. 2021年3月期の連結業績予想 (2020年4月1日～2021年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	550,000	△8.4	12,000	△9.3	12,700	△10.6	10,500	△8.0	174.43

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）： 無  
新規 ー社（社名）ー、除外 ー社（社名）ー

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用： 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更： 無
- ② ①以外の会計方針の変更： 無
- ③ 会計上の見積りの変更： 無
- ④ 修正再表示： 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2021年3月期3Q	63,499,227株	2020年3月期	63,499,227株
② 期末自己株式数	2021年3月期3Q	3,302,640株	2020年3月期	3,302,640株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2021年3月期3Q	60,196,587株	2020年3月期3Q	60,496,716株

(注) 当社は、「株式給付信託（BBT）」を導入しており、当該信託が保有する当社株式は「期末自己株式数」及び「期中平均株式数（四半期累計）」の計算において控除する自己株式数に含めております。

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

上記の予想は、本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績は今後様々な要因によって予測数値と異なる場合があります。なお、業績予想に関する事項は添付資料3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご参照ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報 .....	2
(1) 経営成績に関する説明 .....	2
(2) 財政状態に関する説明 .....	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 .....	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記 .....	4
(1) 四半期連結貸借対照表 .....	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 .....	5
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項 .....	7
(継続企業の前提に関する注記) .....	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) .....	7
(追加情報) .....	7
(セグメント情報) .....	8

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間における世界経済は、新型コロナウイルス感染症（以下、感染症）の世界的大流行の影響により、依然として厳しい状況にあります。米国や中国では、持ち直しの動きとなりました。タイやインドなどアジア新興国では、下げ止まりとなりましたが、欧州の主要国では、弱い動きが続いています。

一方、日本経済も感染症の影響により、企業収益や設備投資が減少し、厳しい状況が続きましたが、足元では個人消費や企業の生産に持ち直しの動きがみられました。

こうした中、当社グループの連結ベースでの売上高は、420,368百万円（対前年同期比8.3%減）となりました。利益面では、営業利益10,610百万円（同1.7%増）、経常利益11,996百万円（同3.5%増）、親会社株主に帰属する四半期純利益9,486百万円（同4.1%増）となりました。

セグメントごとの経営成績は、次のとおりであります。

#### 《情報電子事業》

情報電子事業は、主要商材の販売が堅調に推移し、売上が横ばいとなりました。

液晶関連では、偏光板の販売が減少しました。偏光板原料の販売は、TV向けパネルの生産好調により、堅調でした。

LED関連では、屋外ディスプレイ向け材料の販売が減少しました。

インクジェットプリンター関連では、感染症の影響により、コンシューマー分野はテレワークが進み関連材料の販売が増加しました。産業用分野では、商業印刷需要が冷え込み、関連材料の販売が低調に推移し、全体として横ばいでした。

複写機関連では、テレワークの拡大により、オフィスでのトナー需要が大きく減少し、関連材料の販売が減少しました。

太陽電池関連は、大型システム案件の納入がなかったものの、関連材料の販売は堅調でした。二次電池関連では、関連材料の販売が伸長しました。

フォトマスク関連は、FPD用の関連材料の販売が減少しました。

半導体、電子部品関連は、5Gなどの通信、データセンター向けの好調と車載向けが回復したことにより、関連材料の販売が伸長しました。

これらの結果、売上高は165,082百万円（同0.3%増）となり、セグメント利益（営業利益）は貸倒引当金の戻し入れもあり、4,975百万円（同42.0%増）となりました。

#### 《化学品事業》

化学品事業は、感染症の影響により自動車向けの原料販売などが低調に推移し、売上が減少しました。

樹脂原料・添加剤の販売は、総じて低調でした。

自動車部品業界向け原料の販売は、東南アジア向けを中心に低調でしたが、秋以降、急速に回復傾向にあります。

塗料・インキ・接着剤分野向け原料販売は、広告向けなどが低調でした。

製紙業界向け薬剤の販売は、減少しました。

建築資材関連は、住宅着工件数の減少もあり販売が低調でした。

これらの結果、売上高は48,245百万円（同13.8%減）となり、セグメント利益（営業利益）は869百万円（同12.1%減）となりました。

#### 《生活産業事業》

生活産業事業は、ライフサイエンス関連、食品関連共に感染症の影響により、売上が減少しました。

ライフサイエンス関連では、医薬原料の販売が、中国からの供給再開遅延もあり、減少しました。

ホームプロダクツ分野は、防・殺虫剤関連の販売が堅調でした。

食品関連では、国内において量販店、外食産業向け輸入水産加工品の販売が減少しました。回転寿司向け魚の加工品の販売は、伸長しました。米国では外食産業向けのシーフード商品の販売が、横ばいとなりました。

農産品では、巣ごもり需要により冷凍野菜や冷凍果実の国内向け販売が堅調でした。韓国向けの冷凍ブルーベリーの販売が伸長しました。

これらの結果、売上高は26,623百万円（同3.0%減）となり、セグメント利益（営業利益）は1,055百万円（同17.4%増）となりました。

《合成樹脂事業》

合成樹脂事業は、回復基調にあるものの、感染症の影響や樹脂価格の下落により、売上が減少しました。汎用樹脂関連では、一部の食品関連向けやゲーム機関連は好調でしたが、総じて販売が低調でした。高機能樹脂関連では、自動車関連、OA関連、電気・電子関連と全分野において、国内外で販売が減少しました。特に、自動車分野の販売が大きく減少しましたが、夏以降、急速に回復傾向にあります。フィルム関連では、家庭用が好調でしたが在庫調整が入り、全体として横ばいでした。シート関連では、コンビニ・ファストフード向け飲料用の販売が減少しました。スポーツ資材関連では、国内外でスポーツイベントや大会等の中止が相次ぎ、グリップテープの販売が大きく減少しました。これらの結果、売上高は180,288百万円（同14.3%減）となり、セグメント利益（営業利益）は3,612百万円（同26.9%減）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

(資産)

当第3四半期連結会計期間末における資産合計は、前連結会計年度末に比べて7,679百万円増加（対前期末比2.4%増）し、330,527百万円となりました。

流動資産の減少1,942百万円は、主に現金及び預金、受取手形及び売掛金が増加したものの、商品及び製品が減少したこと等によるものであります。

固定資産の増加9,622百万円は、主に投資有価証券が時価の上昇に伴い増加したこと等によるものであります。

(負債)

当第3四半期連結会計期間末における負債合計は、前連結会計年度末に比べて5,938百万円減少（同3.4%減）し、169,183百万円となりました。

流動負債の減少6,696百万円は、主に支払手形及び買掛金が増加したものの、短期借入金が減少したこと等によるものであります。

固定負債の増加758百万円は、主に長期借入金が減少したものの、その他が増加したこと等によるものであります。その他の内容は主に繰延税金負債であります。

(純資産)

当第3四半期連結会計期間末における純資産は、前連結会計年度末に比べて13,617百万円増加（同9.2%増）し、161,343百万円となりました。これは、主に利益剰余金及びその他有価証券評価差額金が増加したこと等によるものであります。

この結果、自己資本比率は48.2%（前連結会計年度末より3.0ポイント増）となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

連結業績予想につきましては、2020年11月5日の決算短信で公表いたしました通期の連結業績予想に変更はありません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2020年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2020年12月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	29,440	30,303
受取手形及び売掛金	152,457	158,220
商品及び製品	52,052	42,561
仕掛品	766	607
原材料及び貯蔵品	3,084	2,826
その他	8,022	9,326
貸倒引当金	△686	△652
流動資産合計	245,136	243,193
固定資産		
有形固定資産	13,964	13,792
無形固定資産	3,006	2,885
投資その他の資産		
投資有価証券	54,236	64,750
退職給付に係る資産	2,007	2,072
その他	12,312	8,425
貸倒引当金	△7,815	△4,592
投資その他の資産合計	60,740	70,655
固定資産合計	77,711	87,333
資産合計	322,848	330,527
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	96,761	104,121
短期借入金	43,073	28,997
未払法人税等	1,631	1,737
賞与引当金	1,217	674
事業整理損失引当金	240	20
その他	7,852	8,528
流動負債合計	150,776	144,080
固定負債		
長期借入金	9,775	7,751
役員退職慰労引当金	30	28
役員株式給付引当金	85	119
債務保証損失引当金	18	18
退職給付に係る負債	2,369	2,614
その他	12,065	14,571
固定負債合計	24,344	25,103
負債合計	175,121	169,183
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	9,364	9,364
資本剰余金	7,752	7,184
利益剰余金	106,197	112,488
自己株式	△4,155	△4,155
株主資本合計	119,159	124,882
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	26,196	34,400
繰延ヘッジ損益	148	49
為替換算調整勘定	1,436	927
退職給付に係る調整累計額	△1,016	△816
その他の包括利益累計額合計	26,764	34,560
非支配株主持分	1,802	1,900
純資産合計	147,726	161,343
負債純資産合計	322,848	330,527

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書  
 (四半期連結損益計算書)  
 (第3四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年12月31日)
売上高	458,573	420,368
売上原価	423,242	387,068
売上総利益	35,330	33,300
販売費及び一般管理費	24,895	22,690
営業利益	10,435	10,610
営業外収益		
受取利息	134	147
受取配当金	1,601	1,173
持分法による投資利益	263	200
雑収入	556	726
営業外収益合計	2,555	2,248
営業外費用		
支払利息	1,050	539
為替差損	87	92
雑損失	266	231
営業外費用合計	1,403	863
経常利益	11,587	11,996
特別利益		
投資有価証券売却益	1,793	1,493
特別利益合計	1,793	1,493
特別損失		
事業整理損失引当金繰入額	233	—
特別損失合計	233	—
税金等調整前四半期純利益	13,147	13,489
法人税、住民税及び事業税	3,424	3,456
法人税等調整額	264	212
法人税等合計	3,689	3,668
四半期純利益	9,457	9,820
非支配株主に帰属する四半期純利益	344	333
親会社株主に帰属する四半期純利益	9,113	9,486

(四半期連結包括利益計算書)

(第3四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年12月31日)
四半期純利益	9,457	9,820
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△9,187	8,158
繰延ヘッジ損益	132	△99
為替換算調整勘定	△190	△443
退職給付に係る調整額	158	199
持分法適用会社に対する持分相当額	23	44
その他の包括利益合計	△9,064	7,859
四半期包括利益	393	17,680
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	43	17,282
非支配株主に係る四半期包括利益	350	397



(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(追加情報)

(取締役に対する業績連動型株式報酬制度)

当社は、当社取締役（業務執行取締役等でない取締役を除く。）の報酬と当社の業績及び株式価値との連動性をより明確にし、取締役が株価上昇によるメリットだけでなく、株価下落リスクも株主の皆様と共有することで、中長期的な業績の向上と企業価値の増大に貢献する意識を高めることを目的として、取締役に対する業績連動型株式報酬制度として「株式給付信託（BBT）」を導入しております。

(1) 取引の概要

本制度は、当社が拠出する金銭を原資として当社株式が信託を通じて取得され、取締役に対して、当社が定める役員株式給付規程に従って、当社株式及び当社株式を時価で換算した金額相当の金銭が本信託を通じて給付される業績連動型株式報酬制度です。なお、取締役が当社株式等の給付を受ける時期は、原則として取締役の退任時となります。

(2) 信託に残存する自社の株式

信託に残存する当社株式を、信託における帳簿価額（付随費用の金額を除く）により純資産の部に自己株式として計上しております。当該自己株式の帳簿価額及び株式数は、前第3四半期連結会計期間末164百万円、100,000株、当第3四半期連結会計期間末164百万円、100,000株であります。

(セグメント情報)

【セグメント情報】

I 前第3四半期連結累計期間(自2019年4月1日至2019年12月31日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント					その他 (注) 1	合計	調整額	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	情報電子	化学品	生活産業	合成樹脂	計				
売上高									
(1) 外部顧客への 売上高	164,560	55,957	27,448	210,476	458,441	131	458,573	—	458,573
(2) セグメント間の内 部売上高又は振替 高	—	—	—	—	—	—	—	—	—
計	164,560	55,957	27,448	210,476	458,441	131	458,573	—	458,573
セグメント利益	3,505	988	898	4,940	10,333	102	10,435	—	10,435

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、不動産賃貸業であります。

2. セグメント利益の合計額は、四半期連結損益計算書の営業利益と一致しております。

II 当第3四半期連結累計期間(自2020年4月1日至2020年12月31日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント					その他 (注) 1	合計	調整額	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	情報電子	化学品	生活産業	合成樹脂	計				
売上高									
(1) 外部顧客への 売上高	165,082	48,245	26,623	180,288	420,239	128	420,368	—	420,368
(2) セグメント間の内 部売上高又は振替 高	—	—	—	—	—	—	—	—	—
計	165,082	48,245	26,623	180,288	420,239	128	420,368	—	420,368
セグメント利益	4,975	869	1,055	3,612	10,512	97	10,610	—	10,610

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、不動産賃貸業であります。

2. セグメント利益の合計額は、四半期連結損益計算書の営業利益と一致しております。